

平成 28 年度「学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する研究助成」 募集・申請要領

本研究助成は、平成 18 年度に日本赤十字社の助成を受けて開始され、以降、赤十字と看護・介護に関する調査・研究活動を奨励することを目的に交付しています。本助成金による研究の成果が赤十字の活動に活かされ、赤十字事業の発展に貢献することが期待されています。

ついては、平成 28 年度における研究助成について、下記のとおり赤十字と看護・介護に関する調査・研究活動の募集を行います。

また、平成 28 年度においても、課題・共同研究のテーマを設定し募集を行なうこととしております。

記

1. 募集する研究

本研究助成事業は、赤十字に関する調査・研究の奨励を目的として、日本赤十字社からの助成金を得て実施されており、研究テーマの選定にあたっては、赤十字活動との関連性に留意願います。

(1) 研究の区分

次に掲げる**赤十字と看護・介護**に関する研究とする。ただし、国・地方公共団体等外部からの補助金等を受けているものは除く。

ア. **赤十字**に関する教育の研究

イ. **赤十字**の歴史の研究

ウ. **日本赤十字社**の地域活動（防災・広報・ボランティア活動等）に関する研究

エ. **日本赤十字社**による国内外の災害救護活動に関する研究

オ. **赤十字施設**（病院・社会福祉施設等、国外の施設を含む）との連携に関する研究

カ. その他、**赤十字に寄与する**と認められる研究等

(2) 課題・共同研究

本学園の大学・短期大学の教員個人による研究とともに、他の赤十字看護大学・短期大学の教員や日本赤十字社の医療施設等の職員との連携を促進するため、テーマを設定して課題・共同研究を募集します。

（課題・共同研究のテーマ）

ア. 災害看護に関する研究

イ. 看護と介護の連携に関する研究

2. 対象者

- (1) 本学園の教員
- (2) 本学園の教員以外の者であって、本学園の教員と共同して研究を行う者

3. 助成額及び助成期間

- (1) 助成額は1件につき300万円を限度とする。
- (2) 助成期間は、原則として当該研究が開始される年度とする。やむを得ない事情により、研究が次年度以降にわたる場合は、年度ごとの支出経費に応じて分割交付を受けることができる。ただし、その期間は2年間を限度とする。

4. 申請

- (1) 個人主体で申請する場合
研究助成金を申請しようとする者は、様式第1により「研究計画書（別紙1）」及び「研究経費内訳書（別紙2）」を、所属大学・短期大学の学長へ提出する。
- (2) 課題・共同研究に申請する場合
課題・共同研究に申請する場合は、主体となる研究代表者が中心となり連絡・調整し、様式第1により「研究計画書（別紙1）」及び「研究経費内訳書（別紙2）」を研究代表者が所属する大学・短期大学の学長へ提出する。
- (3) 学内での取り扱い
様式第1により研究計画書等の提出を受けた学長は、本研究助成の趣旨等に照らして内容を確認し、必要がある場合は当該研究（代表）者と調整したうえで、様式第2により理事長に提出する。

■ 提出期限：平成27年10月9日（金）必着

5. 交付の内定

- (1) 理事長は審査委員会の審査を経て、平成28年2月下旬までに、該当する学長あて内定を通知する。
- (2) 内定を受けた研究（代表）者は、内定された助成額に基づき、必要に応じて研究計画書及び研究経費内訳書を修正し、学長を経由して理事長あて提出する。

6. 交付の決定

- (1) 理事長は、修正された研究計画書及び研究経費内訳書に基づき、平成28年4月末までに、交付を決定し、該当学長あてに通知する。
- (2) 交付内定・決定後に科研費等の外部資金の採択が決まった場合は、赤十字と看護・介護に関する研究助成規程第2条ただし書きに基づき交付決定を取り消す

ため、学事課までその旨を連絡すること。

7. 研究の変更・中止

- (1) 研究（代表）者は、交付が決定された研究について、計画の変更又は中止する必要が生じたときは、速やかに様式第3により所属大学・短期大学の学長を経由して、理事長あてに、計画変更又は中止の申請書を提出しなければならない。

【変更の申請が必要なもの】

- ① 研究期間を変更する場合
- ② 研究組織を変更する場合
- ③ 当初の研究計画書に記載されていないことを行う場合（経費負担を伴うものに限る）
- ④ 当初の研究計画書に記載されたことを取りやめる場合

8. 研究成果報告書の提出及び公表

◆ 研究成果の提出

- (1) 研究（代表）者は、研究終了後、速やかに様式第4により「研究成果報告書」を作成し、所属大学・短期大学の学長を経由して理事長あてに提出するものとする。なお、平成27年度から研究成果報告書に、成果の公表に係る予定を明記することとしている。

■ 提出期限：平成29年5月末日必着

◆ 研究成果の公表

- (1) 研究の成果については、論文等としてとりまとめ、学会発表及び学術定期刊行物、紀要等に投稿するものとする。発表及び投稿した結果については、速やかにその写しを研究報告書とは別に学園本部事務局長あて提出願います。

9. 助成金の管理

- (1) 本研究助成金は、学校法人日本赤十字学園経理規程等に基づき、各大学・短期大学の会計の中で保管・出納を行うとともに、助成金による物品の購入・借用や物品の保管管理等についても同様とする。
- (2) 証憑書類は各大学・短期大学において整理し、保管することとし、実績報告書においては提出を求めないこととする。
- (3) 次に該当することが判明したときは、研究（代表）者の所属する大学・短期大学の学長は、速やかに、様式第5により研究の中止の手続きを行うとともに、当該助成金の一部又は全部を理事長に返還しなければならない。

- ア. 研究（代表）者が研究終了前に退職したとき
- イ. 助成金を目的外に使用したとき

10. 助成金の精算、経費の報告

- (1) 全ての研究について、年度末に精算を行うこととしている。このため、未使用額が生じる場合は、該当学長は2月末までに様式第6により助成金の精算手続を行い、必ず年度内に学園本部事務局に返金等の処理を終えること。
また、決算処理を行うため、全ての研究について3月末までに研究経費報告書（様式第5の別紙）により報告すること。

11. 広報・情報公開

各研究（代表）者から提出のあった研究成果報告書は、本学園のホームページに掲載し、公開するものとする。

12. 問い合わせ先

学校法人日本赤十字学園 法人本部事務局 学事部学事課
学事係長 矢野 亮子、学事部主事 好永 香
TEL:03-5472-2836 FAX:03-5472-2837
E-Mail: 学事部代表アドレス gakuji@jrc.ac.jp

様式第 1

平成〇〇年〇〇月〇〇日

学校法人日本赤十字学園 理事長 様

研究（代表）者

職名：

氏名：



平成 28 年度「学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する研究助成」
の交付申請について

平成 28 年度において、標記研究助成の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

別紙2（参考）

助成の対象となる経費の取扱い

1. 物品の購入費

- ① 室内備品等の通常各大学で購入すべき物品、PC、プリンター、デジカメ、ビデオ等の研究以外への汎用性のある機器については、各大学が備えるものを用いることとし、原則として交付の対象外とする。ただし、次に当てはまる場合は、研究活動計画書に必要理由を記載し、見積もり又はカタログ等のコピーを添付する。
 - ア その研究を遂行するために必要不可欠であること。
 - イ その研究以外の用途では使用しないこと。
- ② 備品、用品はいずれも、研究（代表）者が所属する大学の規程に則り、備品台帳へ登録を行うなど適切に管理を行う。
- ③ 「研究経費内訳書」には次の区分により記入すること。
 - ア 消耗品費
 - 用品：5万円以上20万円未満の用品を購入するための経費
 - その他の消耗品：5万円未満の用品を購入するための経費
 - イ 備品費：20万円以上の用品を購入するための経費

- #### 2. 旅費交通費
- 研究代表者、共同研究者、その他当該研究への協力者の出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）。

- ・海外出張の場合は、航空会社の見積書を添付すること。

- #### 3. 通信運搬費
- 切手代、電話・FAX代、宅配料等研究に必要な通信費及び運搬費

- #### 4. 印刷製本費
- 研究やその成果発表に必要な資料の印刷、複写、現像費等

- ・本助成金による研究成果の刊行は無印税とし、著者・編者・著作権者に一切の利益が生じないようにすること。

- #### 5. 賃借料
- 研究実施場所の借り上げ費用、研究に必要な機器（自動車、実験機器・器具等）のレンタル費用

- #### 6. 会議費
- 会場借用料等

- ・やむを得ない事情により、会議が食事時間と重なる場合の食事代・お茶代は社会通念上、妥当な金額とすること。

- #### 7. 謝金
- 当該研究を遂行するための資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配布・回収、研究資料の収集等、当該研究のために従事した者への報酬として支出する経費。

- ・研究（代表）者が所属する大学の規程に則り金額を設定すること（雇用契約を行う場合は、大学が契約の当事者となること）。

（目安）

- ①資料整理・実験補助等 1日（8時間）あたり概ね7,600円
- ②アンケート配付・回収 1日（8時間）あたり概ね7,600円＋要した交通費
- ③翻訳 日本語400字あたり概ね4,800円
- ④校閲 外国語300語あたり概ね2,600円

- ・内容により、渉外費、報酬手数料、業務委託費など、本学園の定める勘定科目に沿った内訳書を記入すること。

8. 謝礼：アンケート調査への回答、インタビュー、実験の被検者等研究に協力していただいた者に謝礼品として渡すもの

- ・研究協力者への謝礼は、協力を得た時間や内容を勘案し、研究（代表）者が所属する大学の規程又は常識の範囲で妥当な金額の品（ボールペン、タオル等）とすること。
- ・謝礼品は研究に協力を得た相手に謝意を表すためのものであるため、図書券や商品券（又はこれらに類するもの）などの金券は避けること。
- ・菓子折りなどの手土産は、謝礼金に含まないこと。
- ・内容により、渉外費、報酬手数料、業務委託費など、本学園の定める勘定科目に沿った内訳書を記入すること。

9. その他

- ・内容により、内訳書を本学園の定める勘定科目に則って記入すること。

※上記「物品購入費」「旅費交通費」「謝金」「謝礼」が、それぞれ対象経費の総額 90% を超える場合には当該経費の本事業遂行上の必要性について、研究計画書の「9. その他」に記載すること。

【助成の対象外となる経費】

1. 事業遂行中に発生した事故等の処理費用
2. 学会等にかかる年会費、当該研究の発表以外の目的での学会等への参加にかかる費用
3. 研究（代表）者と共同研究者以外の者の学会等への参加にかかる費用
4. 学会等に付随して行われる懇親会等への参加費
5. 研修講師等との会食費用（懇親会等）

様式第 2

〇〇〇〇 第 〇〇〇〇号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

学校法人日本赤十字学園 理事長 様

〇〇看護大学・短期大学
学 長 〇〇 〇〇

平成 28 年度「学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する研究助成」
の交付申請書について

標記について、下記の者から申請があったので、関係書類を添えて提出します。

記

- | | (職名) | (氏名) |
|----|------|-------|
| 1. | 教授 | 〇〇 〇〇 |
| 2. | 教授 | △△ △△ |
| 3. | | |

様式第 3

平成〇〇年〇〇月〇〇日

学校法人日本赤十字学園 理事長 様

研究（代表）者

職名：

氏名：



平成 28 年度「学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する研究助成」
計画変更・中止申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日付日赤学第〇〇号により助成金の交付決定を受けた 研究計画
を下記のとおり変更・中止したいので、承認されるよう関係書類を添えて申請します。

記

1. 研究テーマ

2. 変更の区分 変更 ・ 中止

3. 計画変更・中止の内容

4. 計画変更・中止の理由

*変更・中止のいずれか該当事項を○で囲んでください。

様式第 4

平成〇〇年〇〇月〇〇日

学校法人日本赤十字学園 理事長 様

研究（代表）者

職名：

氏名：



平成 28 年度「学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する研究助成」
研究成果報告書

平成 28 年度の「学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する研究助成」の研究
成果について、下記のとおり報告します。

1. 研究テーマ

2. 研究成果報告書 （別添のとおり）

3. その他

別添

研究成果報告書

【以下、ワード、MS 明朝、10.5 ポイント、40 文字、35 行】

【余白：上 30mm、下 25mm、右 25mm、左 25mm】

1. 研究テーマ

2. 研究組織【所属・職名・氏名】

研究（代表）者：

共同研究者：

3. 研究区分

赤十字に関する教育研究

赤十字の歴史の研究

日本赤十字社の地域活動に関する研究

日本赤十字社による国内外の災害救護活動に関する研究

赤十字機関（国外の施設を含む。）との連携に関する研究

その他、赤十字に寄与すると認められる研究等

（課題・共同研究テーマ）

災害看護に関する研究

看護と介護の連携に関する研究

4. 要旨【400 字以内】

5. キーワード【5 語以内】

6. 研究報告【研究報告の構成は、原則として以下のとおりとする】

(1) 研究の背景・目的

(2) 研究方法

(3) 研究結果

(4) 考察

(5) 結論

(6) 謝辞

(7) 引用文献

7. 研究成果の公表の予定

(1) 学会等での発表

発表を行う学会等の名称	発表時期

(2) 学術定期刊行物、紀要等への投稿

投稿を行う学術定期刊行物、紀要等の名称	公行時期

(注)

- ① 本報告書は、法人本部において他の研究成果報告書と併せ一括してホームページに掲載するため、上記のページ設定(フォント、文字数、行数等)は変更しないこと。
- ② 報告書の枚数は15枚程度とすること。
- ③ 【 】内および(注)の内容は削除して提出すること。

様式第 5

〇〇〇〇 第 〇〇〇〇 号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

学校法人日本赤十字学園 理事長 あて

〇〇看護大学・短期大学
学 長 〇〇 〇〇

平成 28 年度「学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する
研究助成」研究計画中止報告書

平成〇〇年〇〇月〇〇日付日赤学第〇〇号により助成金の交付決定を受けた研究計画
を下記のとおり中止したので、関係書類を添えて報告します。

記

1. 研究（代表）者（職名・氏名）
2. 研究テーマ
3. 中止の理由
4. 中止に伴う返還金額（別紙のとおり）
円

(別紙)

研究経費報告書

研究(代表)者()

1. 収入

科目	当初計画額	執行済額	差引	備考
助成金				
自己資金				
その他の収入				
合計				

2. 支出

科目	当初計画額	執行済額	差引	備考
助成対象経費	消耗品費			
	内訳			
	用品			
	その他の消耗品			
	備品費			
	内訳			
	教育研究用機器備品			
	旅費交通費			
	通信運搬費			
	印刷製本費			
	賃借料			
	会議費			
	謝金			
	内訳			
	渉外費			
報酬手数料				
業務委託費				
その他				
内訳				
小計				
対象外経費				
	小計			
合計				

※領収書等は、各大学で整理保管してください。

様式第 6

〇〇〇〇 第 〇〇〇〇 号
平成〇〇年〇〇月〇〇日

学校法人日本赤十字学園 理事長 あて

〇〇看護大学・短期大学
学 長 〇〇 〇〇

平成 28 年度「学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する
研究助成」に係る助成金の精算について

標記助成金については、平成〇〇年〇〇月〇〇日付日赤学第〇〇号により交付決定を受けたところですが、学校法人日本赤十字学園赤十字と看護・介護に関する研究助成規程第 5 条第 3 号により、助成金の一部を下記のとおり精算します。

記

1. 研究（代表）者（職名・氏名）

2. 研究テーマ

3. 助成金精算書 別紙のとおり

4. 返還金額 円

5. 返還理由

6. 返還金振込予定日
平成 27 年 3 月 日（ ）

7. その他

(別紙)

助成金精算書

研究(代表)者名()

1. 収入

科目	当初計画額	執行見込額	差引	変更内訳
助成金				
自己資金				
合計				

2. 支出

科目	当初計画額	執行見込額	差引	変更内訳
助成対象経費	消耗品費			
	内訳			
	用品			
	その他の消耗品			
	備品費			
	内訳			
	教育研究用機器備品			
	旅費交通費			
	通信運搬費			
	印刷製本費			
	賃借料			
	会議費			
	謝金			
	内訳			
渉外費				
報酬手数料				
業務委託費				
その他				
内訳				
小計				
対象外経費				
	小計			
合計				

※領収書等は、各大学で整理保管してください。